

番 号	25	区 分	町指定文化財
種 別	史跡	所 有 者	個 人
名 称	上久保(うわくぼ)の一里塚(2基)		
指定年月日	昭和49年7月12日		
所 在 地	南木曾町吾妻(渡島)		

概 要

一里塚は、慶長9年(1604)から17年(1612)にかけて、東海道・中山道などの街道に一里(約4km)毎に築造されたものである。一里塚の基準は、5間(約9m)四方、高さ1丈(約3m)で、塚上に榎や松を植えた。街道の両側に対に築造され、旅人の目印となるとともに安息の場所だった。現在の上久保の一里塚には、春先にしだれ梅の古木が見事な花をつけている。

町内には、十二兼・金知屋・上久保・大妻籠の4か所に一里塚があったが、現在原形をとどめているのは上久保の一里塚だけである。江戸から数えて78里目の塚である。

